

**「未来への森林(もり)づくり県民意識調査」  
調査報告書**

**平成 27 年 7 月  
静岡県森林計画課**

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

平成 18 年度から、「森林（もり）づくり県民税」を徴収し、「森の力再生事業」による荒廃森林の整備を進めてきた。この調査は、「森の力再生事業」への県民の評価と、事業継続への県民の意向を把握し、事業の見直しなどの基礎資料作成を目的として実施した。

## 2 調査の設計

- (1) 調査の方法：往復郵送調査法
- (2) 調査の期間：6 月 15 日（月）～7 月 10 日（金）
- (3) 調査の対象者：県内の市町に居住する 20 歳以上の男女 5,500 人
- (4) 対象者の抽出手順（方法）：層化二段無作為抽出法
  - ①県内の市町（23 市 12 町）を、5 地域の層に分割し、その地域を市部と町部に層化する。
  - ②調査対象者数は、標本誤差を 3%、回収率を 30%と想定し、5,500 人とした。  
5,500 人（対象者数）×30%（回収率）≒1,650 人（標本誤差 3%）
  - ③対象者の割当数にあたり、市部は全市（静岡市・浜松市は全区）、町部（伊豆半島地域は 3 町、東部地域は 4 町、志太榛原・中東遠地域は 2 町）とした。
  - ④平成 27 年 4 月 2 日現在の選挙人名簿登録者総数から、5,500 人を各層別に比例配分し、対象者を抽出した。

地域別の割り振り	成人者数	配分比	抽出数	有効回収数	回収率
静岡県(総計)	3,034,612	100%	5,500	1,827	33.2%
伊豆半島地域	211,873	6.98%	404	112	27.7%
東部地域	791,351	26.08%	1,426	447	31.3%
中部地域	587,458	19.36%	1,058	335	31.7%
志太榛原・中東遠地域	752,268	24.79%	1,366	456	33.4%
西部地域	691,662	22.79%	1,246	438	35.2%
			(無回答)	39	-

- (5) 調査回収結果 回収数：1,832 人（33.3%） 有効回収数 1,827 人（33.2%）

### 3 調査の項目

- (1) 森林再生事業についての評価
- (2) 森林（もり）づくり県民税負担への理解度合
- (3) 「森の力」低下の問題意識
- (4) 荒廃森林再生施策の継続に対する判断
- (5) 森の力再生事業や森林（もり）づくり県民税についての意見や感想
- (6) 回答者属性 性、年代、仕事の業種、居住地の市町、居住地の周辺環境

### 4 調査の実施機関

株式会社SBSプロモーション

### 5 報告書の見方

- ◆結果は百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- ◆数値やグラフの中の「件数」、「n」（number of case の略）は回答者総数（あるいは分類別の該当者数）を示し、回答比率はこれを100%であらわした。
- ◆調査対象者の属性に無回答があるため、数表や図表の内訳の合計が全体の回答者数と異なる場合がある。無回答は全体の比率計算に含めている。

## Ⅱ 調査の結果

### 1 調査回答者の属性

問6 あなたの性別を教えてください。（1つだけ○をつけてください。）

	回答数	男性	女性	無回答
合計	1,827件	828件 45.3%	999件 54.7%	0件 0.0%

問7 あなたの年齢はおいくつですか。（1つだけ○をつけてください。）

	回答数	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
合計	1,827件	76件 4.2%	207件 11.3%	313件 17.1%	327件 17.9%	446件 24.4%	458件 25.1%	0件 0.0%

問8 あなたのお仕事を教えてください。二つ以上のお仕事をお持ちの人は、収入の多い方の仕事を1つ教えてください。（1つだけ○をつけてください。）

	回答数	就業業種別（くくり）						無回答
		1次産業就業者	2次産業就業者	3次産業就業者	その他の就業者	学無職・他主婦（夫）	無職（収入あり）	
合計	1,827件	39件 2.1%	267件 14.6%	634件 34.7%	48件 2.6%	325件 17.8%	449件 24.6%	65件 3.6%

問9 あなたのお住まいの市町をお答えください。（1つだけ○をつけてください。）

	回答数	伊豆半島地域	東部地域	中部地域	中志太遠榛地原域・	西部地域	無回答
合計	1,827件	112件 6.1%	447件 24.5%	335件 18.3%	456件 25.0%	438件 24.0%	39件 2.1%

問10 あなたのお住まいの周りの状況をお答えください。（1つだけ○をしてください）

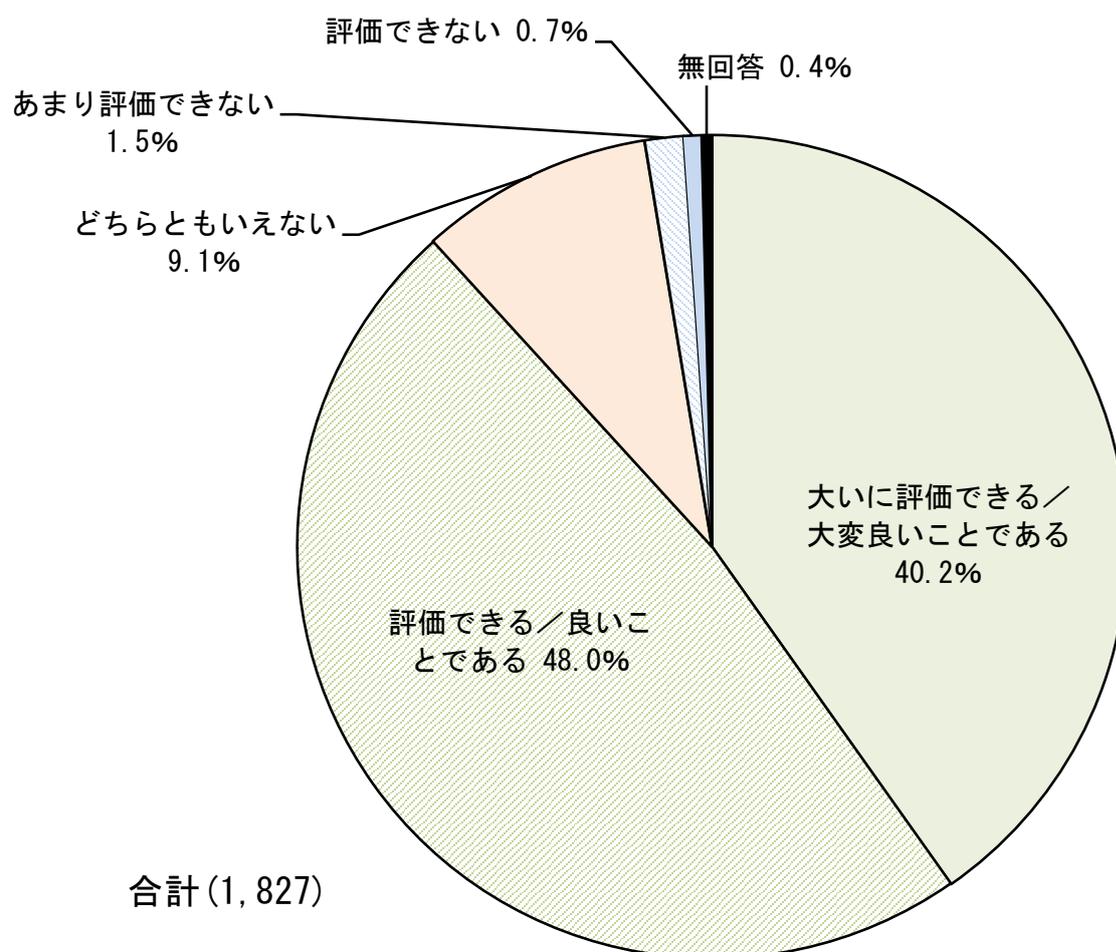
	回答数	住宅の多い地区	商店の多い地区	農地の多い地区	森林の多い地区	無回答
合計	1,827件	1,245件 68.1%	217件 11.9%	206件 11.3%	115件 6.3%	44件 2.4%

## 2 森林再生事業についての評価

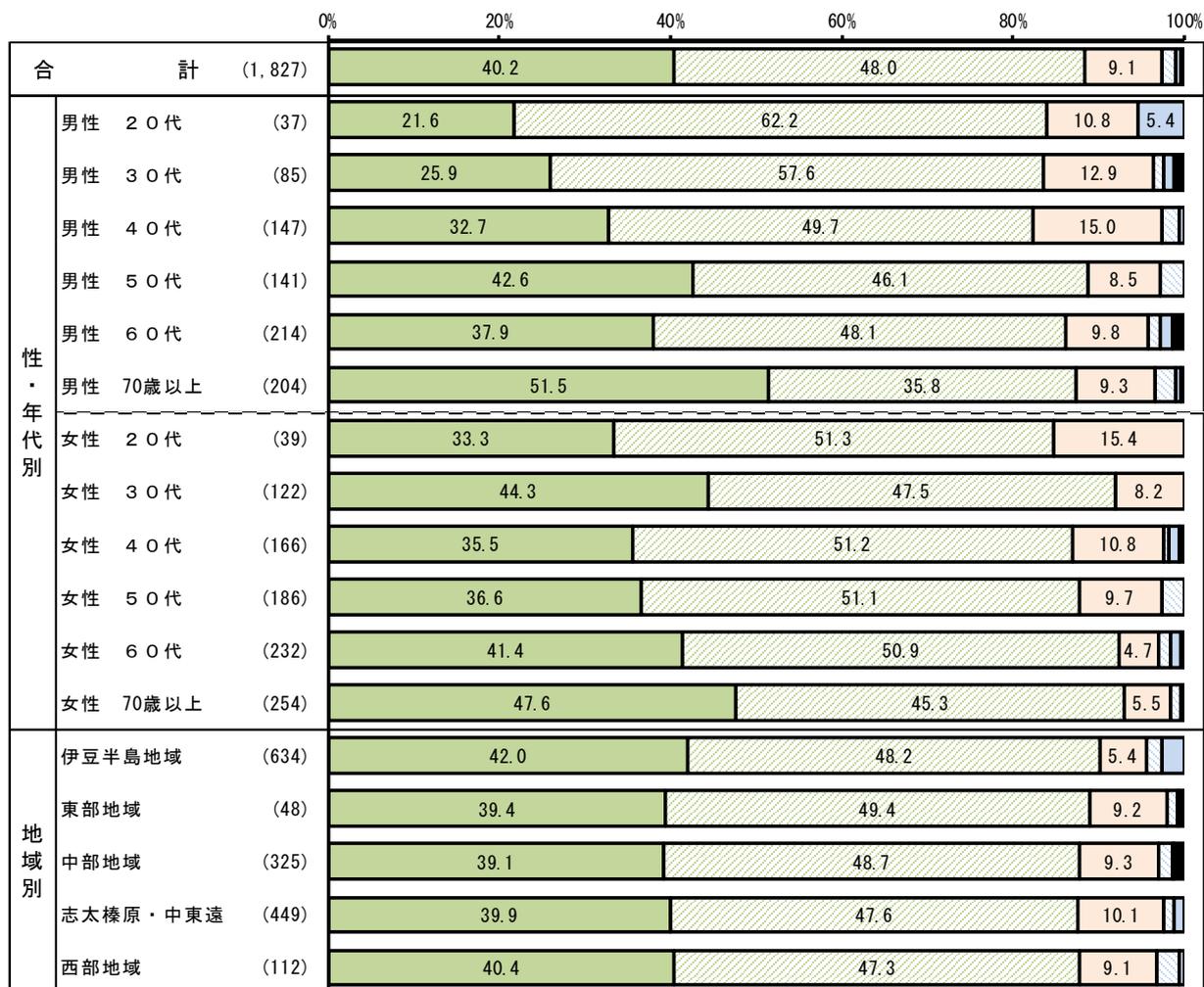
問1 静岡県では、平成18年度から、県民の皆様に「森林（もり）づくり県民税」を負担していただき、これを財源に荒廃森林の再生を図る「森の力再生事業」を実施してきました。

この森の力再生事業により、これまでの9年間に約1万1千ヘクタール（浜名湖の1.7倍に相当する面積）の荒廃森林が再生されましたが、このことについて、どのようにお考えですか。（1つだけ○をつけてください。）

「森の力再生事業」への評価は、「大いに評価できる」（40.2%）と「評価できる」（48.0%）を合わせた評価層の割合は88.2%と高い。一方、「評価できない」（0.7%）と「あまり評価できない」（1.5%）を合わせた非評価層の割合は2.2%と低い。



- ◆ 性・年代別にみると、「大いに評価できる」と「評価できる」を合わせた評価層の割合は各性・年代で80%を超え、『女性30代』(91.8%)、『女性60代』(92.3%)、『女性70歳以上』(92.9%)においては90%を超えた高い割合になっている。

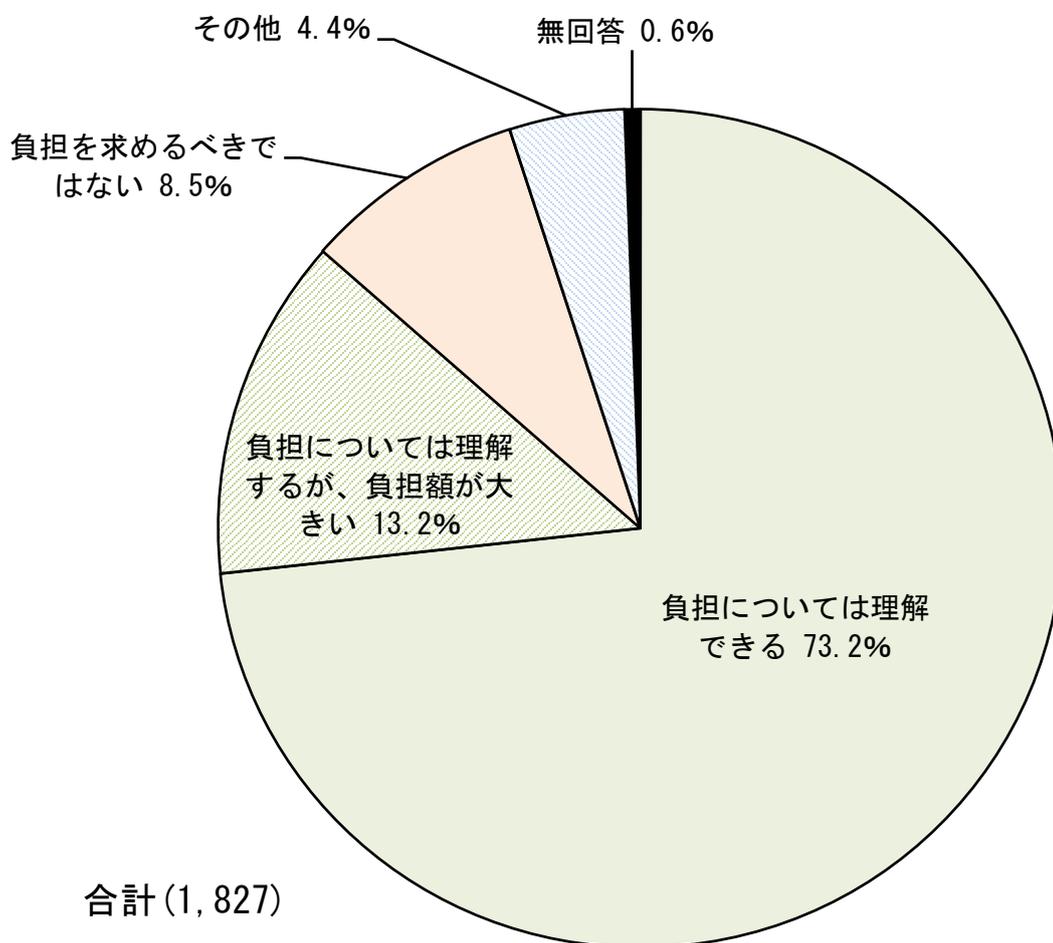


※3%未満の値は表記なし

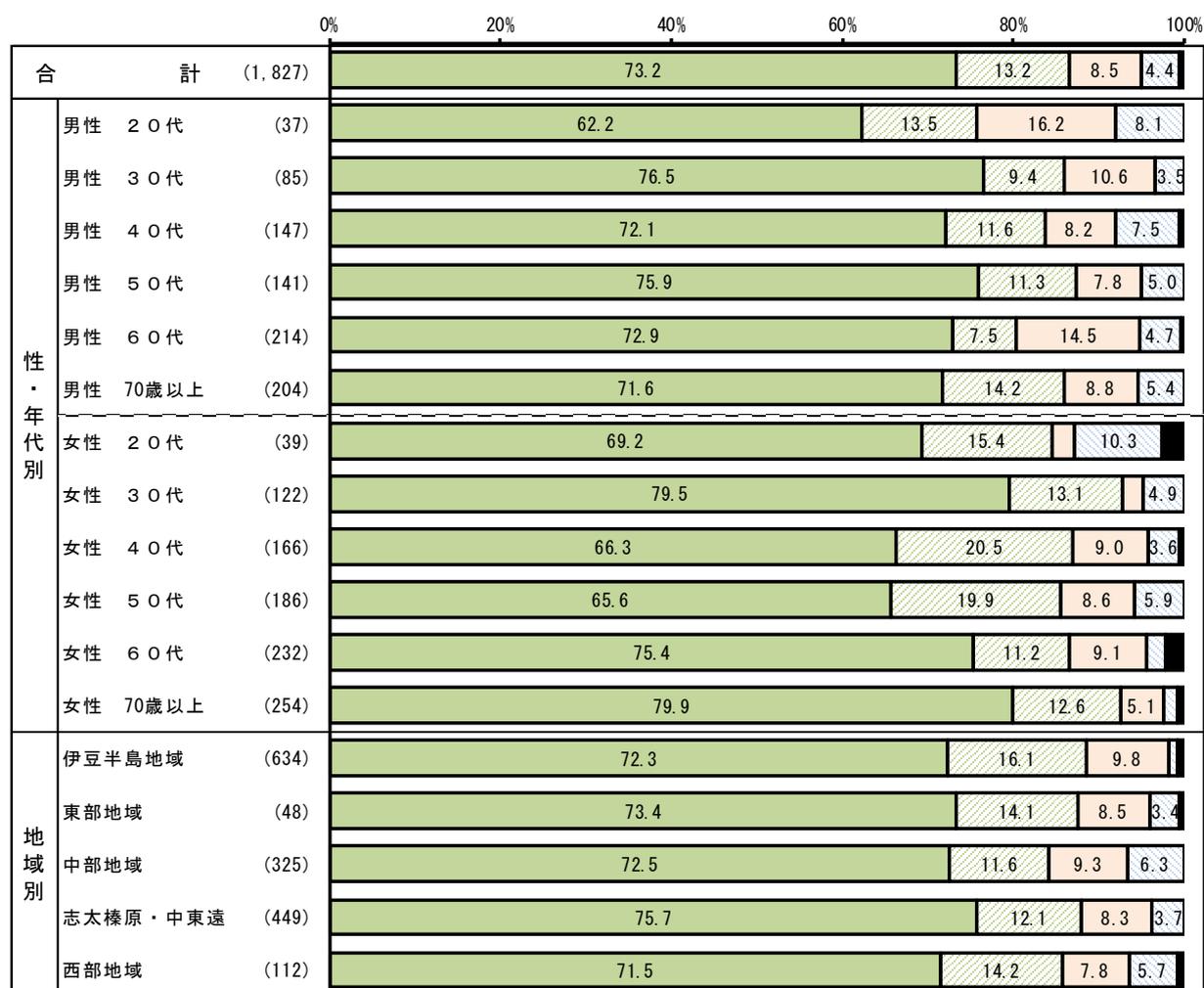
- 大いに評価できる／大変良いことである
- 評価できる／良いことである
- どちらともいえない
- あまり評価できない
- 評価できない
- 無回答

問2 森林（もり）づくり県民税は、個人の方は年400円、法人は年1,000円～40,000円を負担していただいています。このことについて、あなたはどのようにお考えですか。（1つだけ○をつけてください。）

「森林（もり）づくり県民税」負担の理解度は、  
 「負担については理解できる」は73.2%で最も多く、「負担については理解するが、負担額が大きい」は13.2%となり、合わせた86.4%は税制度の肯定層となる。一方、「負担を求めるときではない」の否定層は8.5%となっている。



- ◆ 性・年代別にみると、「負担については理解するが、負担額が大きい」との税制度は認めているが負担額の軽減を訴える層の割合は、『男性 70 歳以上』(14.2%)、『女性 20 代』(15.4%)、『女性 40 代』(20.5%)、『女性 50 代』(19.9%) で高い割合になっている。「負担を求めるべきではない」の否定層の割合は、『男性 20 代』(16.2%)、『男性 60 代』(14.5%) において高く、『女性 20 代』(2.6%)、『女性 30 代』(2.5%)、『女性 70 歳以上』(5.1%) は低い。

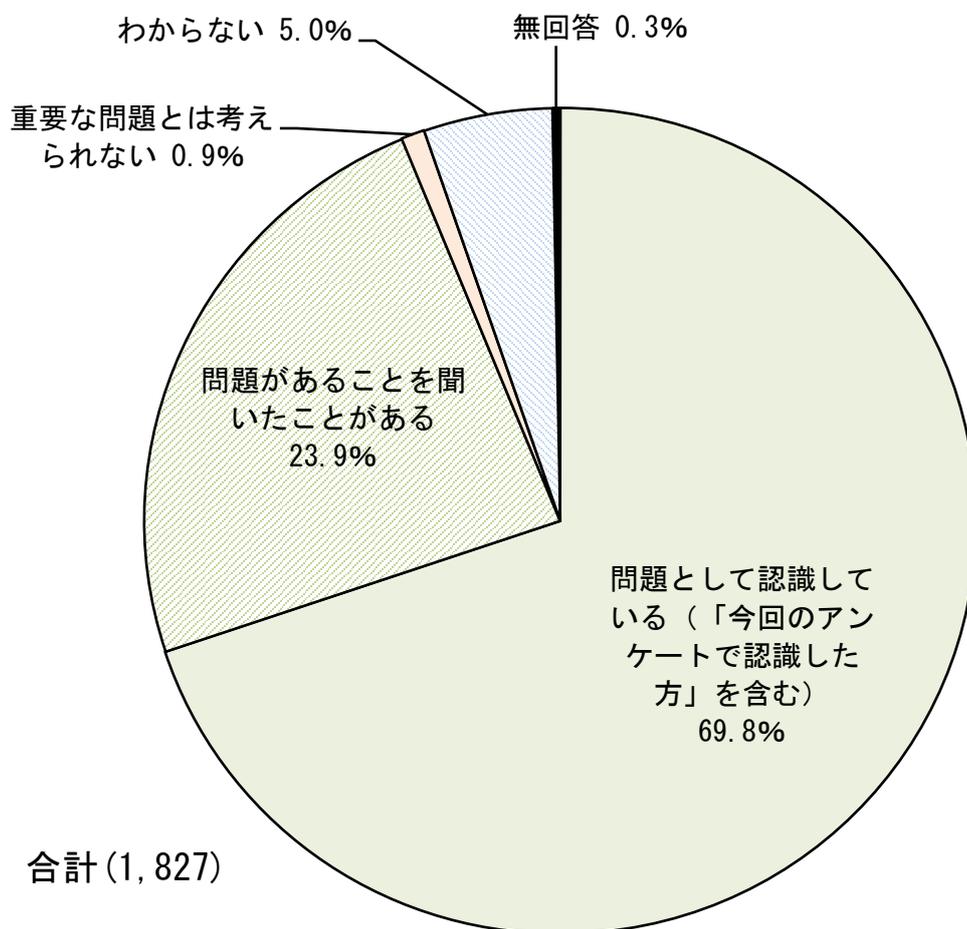


※3%未満の値は表記なし

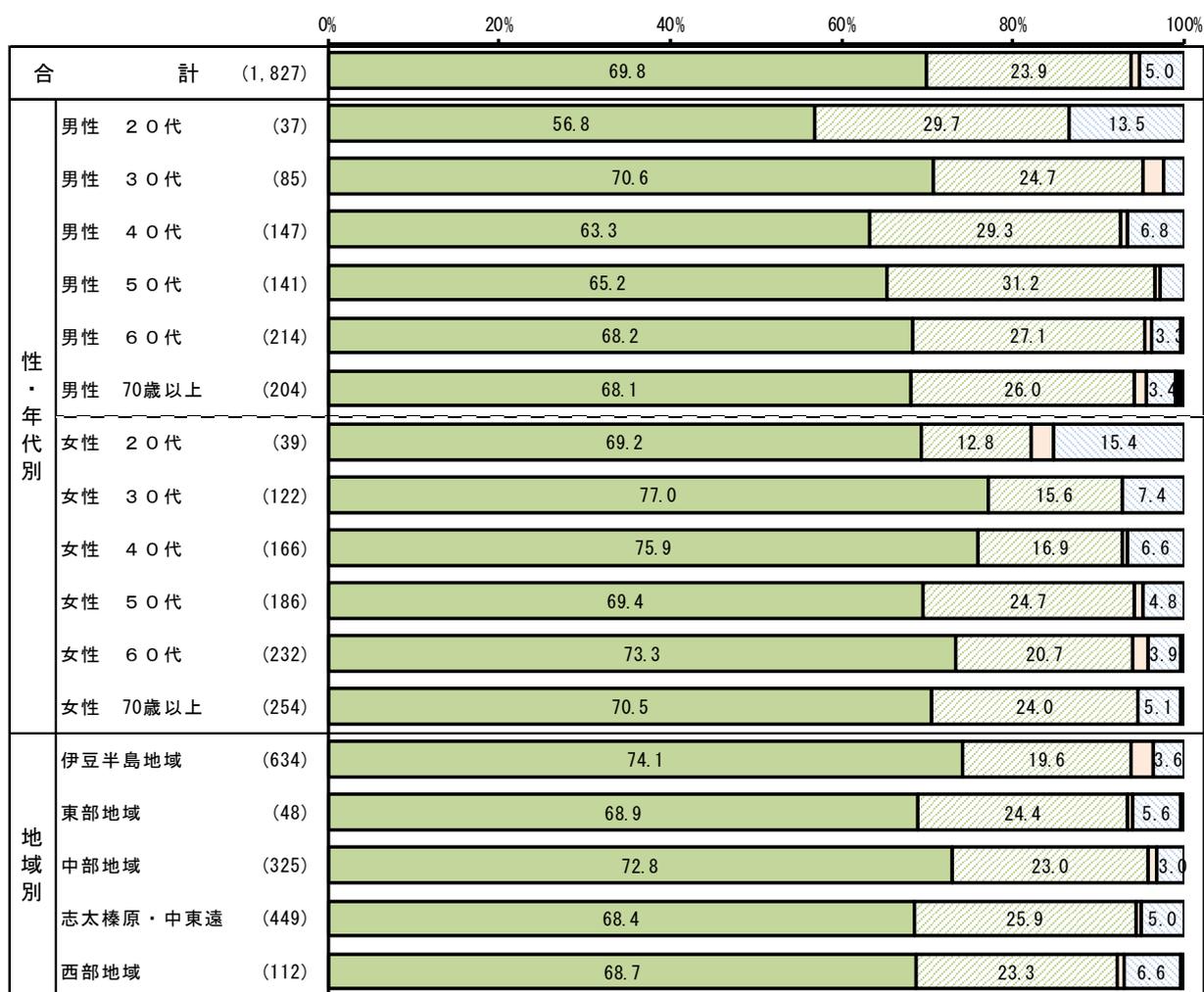
- 負担については理解できる
- ▨ 負担については理解するが、負担額が大きい
- 負担を求めない
- その他
- 無回答

問3 間伐が遅れている人工林、気象災害を受けた人工林、放置された竹林など新たな荒廃が進行した森林が見られるようになり、水源かん養や土砂災害防止などの「森の力」が低下するおそれがあることについて、どのようにお考えですか。（1つだけ○をつけてください。）

「森の力」の低下への危惧感は、「問題として認識している（「今回のアンケートで認識した方」を含む）」の危惧感を認識している層の割合は68.8%で最も高く、「問題があることを聞いたことがある」は23.9%となり、「重要な問題とは考えられない」との危惧感を持たない層は0.9%と低い。



- ◆ 性・年代別にみると、「問題として認識している（「今回のアンケートで認識した方」を含む）」の危惧感を認識している層の割合は、各年代で女性層に比べ男性層は低くなっている。中でも、『男性 20代』は56.8%と低い。また、「わからない」の割合が、『男性 20代』（13.5%）、『女性 20代』（15.4%）の20代で高くなっている。
- ◆ 地域別にみると、「問題として認識している（「今回のアンケートで認識した方」を含む）」の危惧感を認識している層の割合は、『伊豆半島地域』（74.1%）と『中部地域（静岡市）』（72.8%）の2地域で70%を超えて高くなっている。



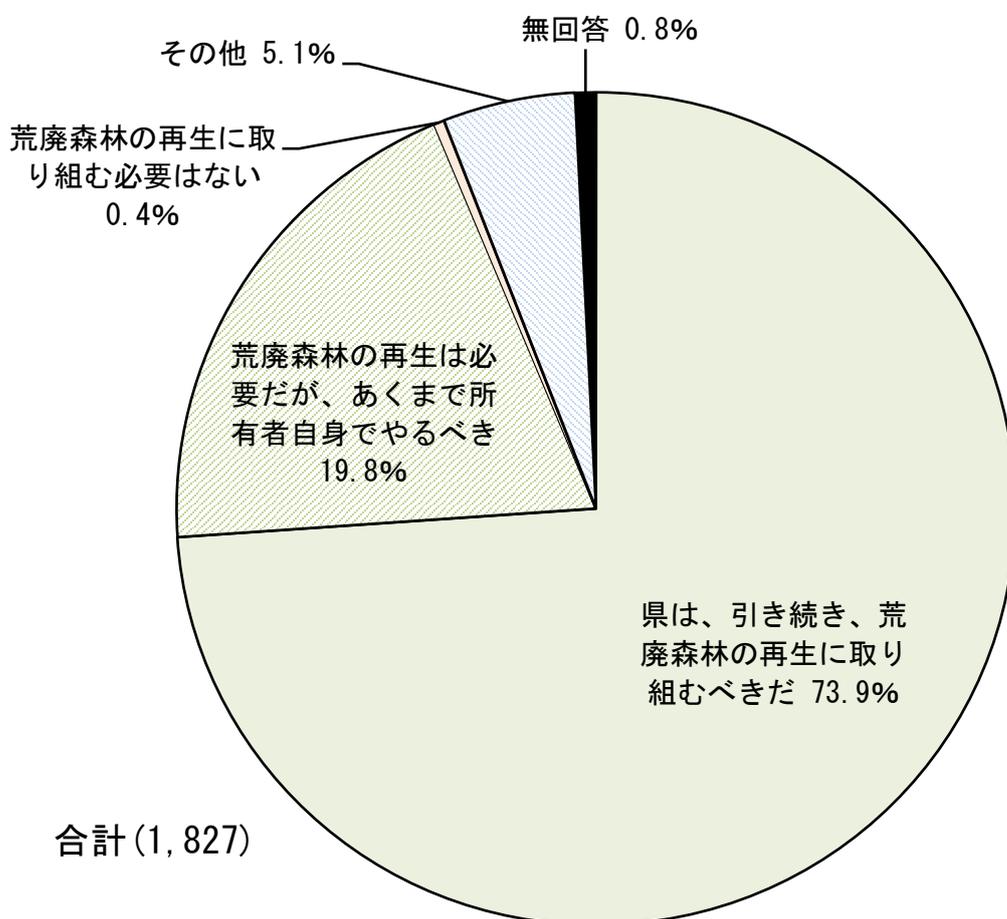
※3%未満の値は表記なし

- 問題として認識している（「今回のアンケートで認識した方」を含む）
- 問題があることを聞いたことがある
- 重要な問題とは考えられない
- わからない
- 無回答

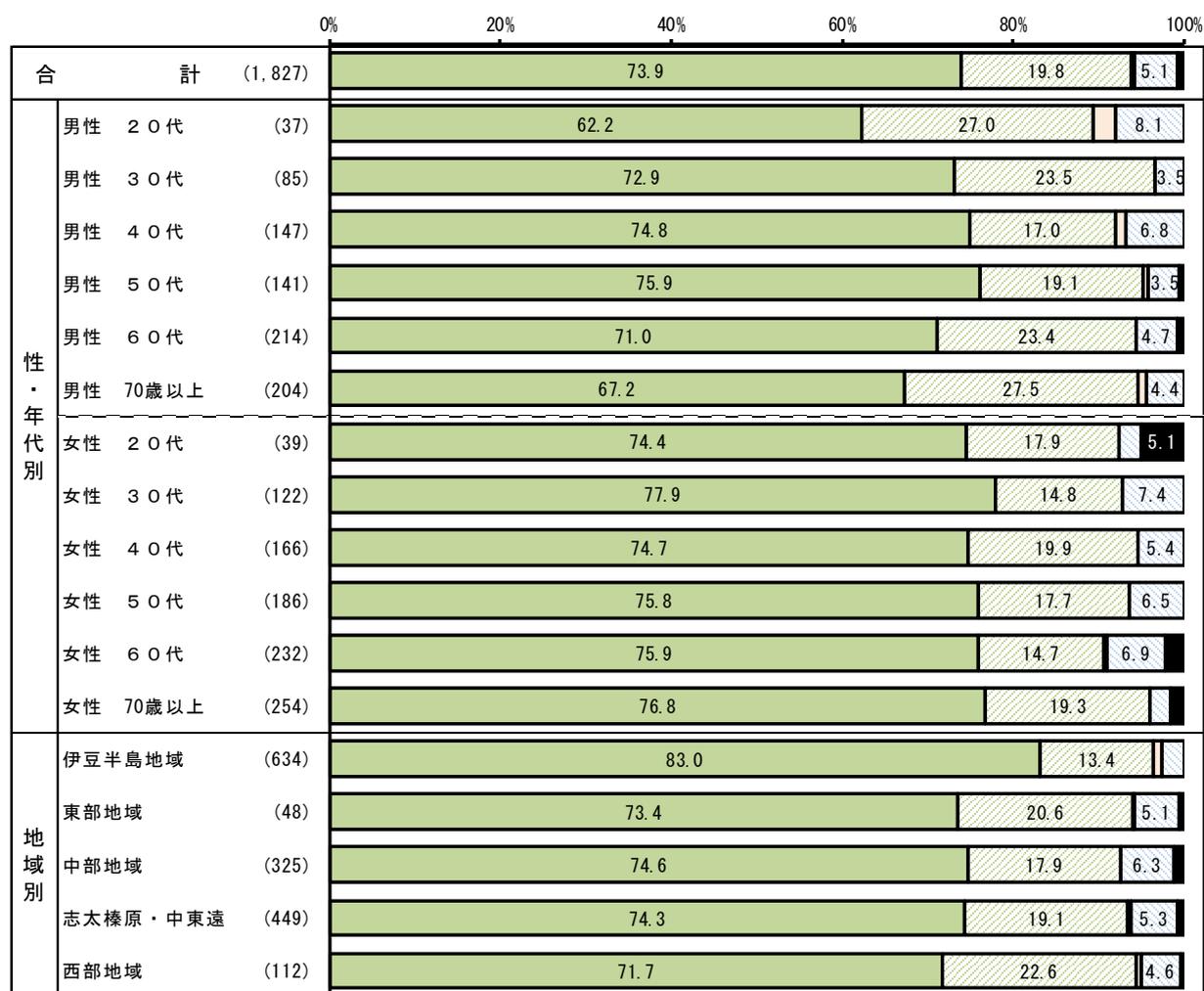
問4 このような荒廃森林を再生するため、引き続き、県の施策として対応をしていくことについて、どのようにお考えですか。(1つだけ○をつけてください。)

荒廃森林再生施策の継続に対する判断は、

「県は、引き続き、荒廃森林の再生に取り組むべきだ」の継続肯定層の割合は73.9%である。一方、「荒廃森林の再生は必要だが、あくまで所有者自身でやるべき」(19.8%)と、「荒廃森林の再生に取り組む必要はない」(0.4%)を合わせた20.2%が継続中止層となる。



- ◆ 性・年代別にみると、「県は、引き続き、荒廃森林の再生に取り組むべきだ」の継続肯定層の割合は、『男性 20代』(62.2%)と『男性 70歳以上』(67.2%)において低くなっている。逆に、この2層は「荒廃森林の再生は必要だが、あくまで所有者自身でやるべき」が『男性 20代』(27.0%)と『男性 70歳以上』(27.5%)で高くなっている。
- ◆ 地域別にみると、「県は、引き続き、荒廃森林の再生に取り組むべきだ」の継続肯定層の割合は、『伊豆半島地域』で83.0%と高くなっている。



※3%未満の値は表記なし

- 県は、引き続き、荒廃森林の再生に取り組むべきだ
- 荒廃森林の再生は必要だが、あくまで所有者自身でやるべき
- 荒廃森林の再生に取り組む必要はない
- その他
- 無回答

問5 森の力再生事業や森林（もり）づくり県民税について、御意見、御感想がありましたら御自由にお書きください。（できましたら 200 字以内でお願いします。）

※一部抜粋したものを掲載

事業内容及び制度への御意見

最近頻繁に記録的な大雨が降ったり異常気象が目立つ中、荒廃森林を放置する事は自分たちの生活に大きく関係してくると思うので「森林づくり県民税」は妥当だと思う。  
(20代女性、地域無回答)

近所の山を散歩しても送られた写真のような場所がいくつもあり、台風などが来たときに崩れた山もあり、道がふさがり、日常生活に影響がある事を実感している。引き続きこの事業を行って、山が元気になる事を望んでいる。  
(40代女性、中部地域)

土砂災害防止など森の力は引き続き行って欲しい。放置されると犯罪に利用される危険もあり、整備点検することにより犯罪防止にも繋がると思う。  
(50代男性、東部地域)

台風や集中豪雨により災害が発生しており、災害に強い森づくりの必要性は認識している。所有者本人による森づくりが難しい所や集約化しても経営が難しい所は今の様な事業で整備を続けてほしいと思う。ただこの県民税の認知度はとても低いので、広報にも活用できるような整備も行ってほしい。  
(20代女性、中部地域)

県が森の力再生事業を実施していることを知らなかった。このアンケートで初めて知った。昨年の広島の高雨による土砂災害等を考えると事業の必要性はとても感じるので県民に事業の内容と成果を広く周知してはどうか。(30代男性、西部地域)

おそらく、この事業について認識のある人は少ないと思うので、より身近に感じられるように何らかの形で広報する必要があるのではないかと。個人的には今後、県のHP等で動向を見て行きたい。事業内容に納得できれば負担額は大きいとは思わない。  
(40代男性、中部地域)

近年の集中豪雨などの異常気象が非常に気になっている。今後は森の力を回復させることに加え、災害対策に関しても考慮していく必要性がかなり高まってくるのではないかと。ただ、今後の増税のことを考えると森林づくり県民税の負担額に関しては、現状維持もしくは減税の方向へ行って欲しいと思う。20才代には税金の負担が大きいと思う。  
(20代女性、伊豆半島地域)

本音を言えば所有者のいる山林の管理は所有者自身にやってもらいたい所であるが、近年増加している空家問題と同じ様にやむを得ない場合には税金が投入されるのは仕方がないと思う。今後、県民の負担額が増えないことを願いたい。

(30代女性、志太榛原・中東遠地域)

基本的には所有者がやるべき問題だが、強制できない。ある程度の補助をした上で再生に持って行くのが現実的では？

(30代男性、西部地域)

あくまで所有者自身がやるべきで、できないなら所有するべきでない。県がその土地を買い取ればよく、そのお金を税金で補うことに賛同する。

(40代男性、志太榛原・中東遠地域)

森林所有者とそうでない方の差を付けるとか。整備に協力してあげて、かかった費用はどうなっているか？すべて県民税からなのか？所有者の負担は多くて当然だと思う。

(60代女性、東部地域)

#### その他要望など

花粉症対策をして欲しい。

(30代女性、中部地域)

幼・小・中・高の教育課程においても森の力再生事業と防災のつながりについて学ぶ機会を設けることが望ましい。

(40代女性、中部地域)

自分の生活の中では森林や山林など特に係わりはないが、年間400円の負担で災害の防止や環境が改善されるのはよい事なので、県民税負担は継続するべきと思う。鹿の食害が多く報道されているが、この再生事業を利用してより多くの鹿駆除を含め対策するべきと思う。

(60代男性、東部地域)

森と海の資源そして災害との関係がTVなどでたびたび取り上げられている。森をよい状態にしておくこと、本当は自然の力に任せた豊かなもりがいいが、それを再生させるまでは人の力が必要と思う。しかし人件費や税金だけをつぎ込むだけではなく、ボランティアや意識向上の為に小中高生にできることをしてもらい学習の場に活用できたらと思う。

(60代女性、中部地域)

未来への森林（もり）づくり県民意識調査

平成 27 年 7 月

編集・発行：静岡県森林計画課

静岡市葵区追手町 9 - 6

TEL 054-221-2613